

『2019 アクセスディンギー全日本選手権 』

は じ め に

転覆のしない船という思想で作成されたアクセスディンギーというクラスの全日本選手権を開催しました。本事業は障がい者や高齢の方など誰でも参加可能という点がこの大会の大きな特徴となっております。

船の大きさや乗船人数の違う 4 クラスを用意し、本大会は行われました。大坂以外にも、三重や横浜から参加選手が集まり、総数は 48 名となりました。

当日は少し雲がありましたが、適度な風があり、安定的にレースを開催できました。スタッフの協力により、大きな事故なく、大会を終えることが出来ました。

レポ ー ト

大阪北港マリーナにて、アクセスディンギーのマッチレースの全日本選手権を開催しました。

天気は曇りですが、風に恵まれ、多くのレースをすることが出来ました。



シングルハンド(1人乗り)とダブルハンド(2人乗り)にクラスを分けていた為、それぞれ違ったレースが展開されました。シングルハンドは1人ですべて行う必要があり、総合力が問われます。一方ダブルハンドは、2人のコンビネーションやコミュニケーションが必要になります。それぞれのレースが白熱したレースが行われました。



お昼休憩の時間では、一度ヨットを栈橋に係留し、参加選手がコミュニケーションをとれるようにしております。遠方からの参加選手がいますので、貴重な場所を作ることが出来ました。



全日本選手権という形式をもったレースを開催し、参加された障がいを持った選手や高齢者の方に少しでも自信を持ってもらえれば、主催者としてうれしいです。また、同じ経験や真剣勝負の場を共有し、日常ではできないコミュニケーションを選手間でとってもらうことにより、選手同士の繋がりを形成できるようにしていきたいと考えております。

当団体の主催するイベントへの参加者を増加することにより、レースや試乗会が高齢の方や障害者の方のコミュニティとなり、体やメンタルの健康の維持の一端となれるよう今後も活動していきます。

